

授業科目 NO. 617 精神看護支援論

Psychiatric and Mental Health Nursing Skills

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数): 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期: 4 年次・前後期

必修・選択の別: 選択

キ ー ワ ー ド : メンタルステータスイグザミネーション、精神科薬物療法、
心理社会的療法、ナラティブアプローチ、リラクセーション

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

精神看護学の支援方法に関する知識や技術を修得するため、精神機能のアセスメント方法、薬物療法や心理社会的療法、ナラティブアプローチ、リラクセーション技法について学ぶ。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 精神機能のアセスメント技法である **Mental Status Examination** を用いて、模擬患者の精神状態を分析できる。(②)
- (2) 精神科で用いられる薬剤の特徴を理解し、患者の服薬アドヒアランスを高めるための看護のあり方に関する自分の考えを述べることができる。(②)
- (3) ナラティブアプローチに基づくコミュニケーション体験を通して、患者の物語を共同で生み出す看護のあり方に関する自分の考えを述べることができる。(①②)
- (4) 社会生活技能訓練の体験を通して、患者の対人関係スキルを向上するための看護のあり方に関する自分の考えを述べることができる。(②③)
- (5) 様々なリラクセーション技法の体験を踏まえて、リラクセーション技法の看護場面での活用に関する自分の考えを述べることができる。(②)
- (6) 集団精神療法の体験を通して、参加者相互のリカバリーやソーシャルスキルを促進するグループのあり方に関する自分の考えを述べることができる。(①②)
- (7) ポジティブ心理学の概念を理解した上で、看護師自身の心身のセルフケアへの活用に関する自分の考えを述べることができる。(①②)
- (8) 今後、学生自らが看護職として活動する領域において、精神看護支援論での学びを具体的にどのように活用するのか、自分の考えを述べることができる。(①②③④)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	100%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：長山 豊

教 授 長山 豊 (精神看護学)
 准 教 授 大江 真人 (精神看護学)
 助 手 山口 千夏 (精神看護学)
 非常勤講師 平山 美和子

6 教育担当者の実務経験

担当教員（長山、大江、山口）は、看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

なし

8 推 薦 参 考 書

- 1) 武藤教志、他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルステータスイグザミネーション Vol.1 第2版、精神看護出版、2021.
- 2) 武藤教志、他科に誇れる精神科看護の専門技術 メンタルステータスイグザミネーション Vol.2 第2版、精神看護出版、2021.
- 3) 安保寛明・武藤教志、コンコーダンス 患者の気持ちに寄り添うためのスキル 21、医学書院、2010

- 4) 増川ねてる・藤田茂治、WRAP を始める！ 精神科看護師との WRAP 入門 リカバリーの
キーコンセプトと元気に役立つ工具箱、精神看護出版、2016

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学習・事後学習として計 180 分程度必要である。

講義内容の事前学修に必要な資料は、毎回の授業で事前配布するので熟読して授業に臨むこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出されたレポートについてコメントによりフィードバックを行う。

11 履修上の注意事項

- 1) 授業内容に対する疑問・質問等は、積極的に行いましょう。授業中、または、授業後に担当教員と積極的に話し合い、学修内容を深めてください。
- 2) グループワークで意見交換する際には、感染予防に十分留意して限られた時間を有効に活用できるよう主体的に話し合い、学生同士で協力し合って、課題に取り組みましょう。

12 オフィスアワー等

質問は随時受け付けますが、事前にメール等で連絡してください。

非常勤講師については、授業終了後に質問してください。

長山 (naga-y@kanazawa-med.ac.jp)

大江 (oemasato@kanazawa-med.ac.jp)

山口 (yama-c@kanazawa-med.ac.jp)

第4学年

精神看護支援論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月04日(火)	4	講義	ガイダンス、精神機能のアセスメント	グループワーク、ディスカッション、レポート	精神看護学	長山教授,大江准教授,山口助手
後	2	11月07日(金)	3	講義	精神科薬物療法における看護の役割	グループワーク、ディスカッション、レポート	精神看護学	長山教授,大江准教授,山口助手
後	3	11月11日(火)	4	講義	物語や対話を活用した精神看護のアプローチ	グループワーク、ディスカッション、レポート	精神看護学	大江准教授,長山教授,山口助手
後	4	11月13日(木)	3	講義	ソーシャルスキルトレーニング(SST)	体験演習、レポート	精神看護学	大江准教授,長山教授,山口助手
後	5	11月18日(火)	4	講義	特別講師招聘講義・演習「いま、ここで」に焦点をあてたグループの感情の動きに着目してみよう	体験演習、レポート	精神看護学	長山教授,平山非常勤講師,大江准教授,山口助手
後	6	11月21日(金)	3	講義	リラクゼーション技法(呼吸法・筋弛緩法)によるストレスマネジメント	体験演習、レポート	精神看護学	長山教授,大江准教授,山口助手
後	7	11月21日(金)	4	講義	ポジティブ心理学を看護師のセルフケアに活かす	グループワーク、ディスカッション、レポート	精神看護学	平山非常勤講師,長山教授
後	8(0.5)	11月25日(火)	4	講義	まとめ	レポート	精神看護学	長山教授